

竹島問題に関する調査・研究等に功績のあった 功労者に対する感謝状贈呈者一覧

※敬称略・五十音順（複数の場合は代表者）

区分	氏名（年齢）	功 績
研究 協力	つじたに ようこ 辻谷 洋子 (65) (安来市)	<ul style="list-style-type: none"> ・辻谷洋子氏の協力により、^{むらがわ}村川家資料の写しが安来市内に残されていることが判明した。^{むらがわ}村川家の活動を知る上で貴重な資料の提供をいただくと同時に、調査に多大のご協力をいただいた。 ・江戸期に幕府の許可を得て、現在の鬱陵島と竹島に出漁していた米子の商人、^{おおや むらがわ}大谷・村川家の活動については、日本の竹島領有の論拠の一つとなっている。 ・^{むらがわ}村川家の経済活動については、直系の子孫が明治後期に東京に移住したこともあり、その詳しい様子が分からない状況にあった。
証言	はまだ よしこ 濱田 ヨシ子 (80) (隠岐の島町)	<ul style="list-style-type: none"> ・濱田ヨシ子氏は、昭和初期に久見地区で船大工及び漁師を営んでいた濱田正太郎氏の義理の娘であり、正太郎から聞いた竹島漁撈の具体像について証言いただいた。 ・過去、正太郎の妻のヤスミ氏が竹島に関する話を証言していただいているが、義理の娘である濱田ヨシ子氏も正太郎氏から同じ話を聞いており、竹島漁撈の実態が明らかとなった。
資料 提供	まの てつお 眞野 哲夫 (74) (出雲市)	<ul style="list-style-type: none"> ・眞野哲夫氏は、祖父の代まで遡る鬱陵島での日本人の生活、鬱陵島と島根県との関係、さらには鬱陵島の竹島問題との関わりについて、貴重な資料をご寄贈いただいた。 ・島根県作成の『昭和二十八年度 竹島関係綴 広報文書課』中の竹島に関する口述記録に「眞野重光氏（益田市安田中学校教諭：昭和28年当時）」があるが、眞野哲夫氏は眞野重光氏の甥にあたる。
研究 協力	み ほじんじや 美保神社 (松江市)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般には公開されていない美保神社文書の閲覧について特に許可をいただき、その調査の結果、松永知事一行が明治38年8月18日に、美保神社に参拝後、竹島渡航に出発したことが明らかとなった。調査に多大の協力をいただいた。 ・松永知事が明治38年8月に急遽竹島を視察したことはよく知られていたが、このことについては、当時の公文書や新聞記事などに記録がなく、その間の経緯については全く不明であった。

* 年齢は 2025 年 2 月 22 日現在

【参考】これまでの感謝状贈呈件数

(件)

	特別表彰	資料提供	研究協力	証言	翻訳	啓発	計
H19. 2. 22	0	5	3	0	0	0	8
H20. 2. 22	0	4	0	4	0	0	8
H21. 2. 22	0	4	0	2	0	0	6
H22. 2. 22	0	1	0	1	0	0	2
H23. 2. 22	0	2	0	2	1	0	5
H24. 2. 22	0	3	0	0	0	0	3
H25. 2. 22	1	2	0	2	0	0	5
H26. 2. 22	0	3	0	2	0	0	5
H27. 2. 22	0	4	0	1	0	0	5
H28. 2. 22	0	1	2	0	0	0	3
H29. 2. 22	0	2	0	1	0	0	3
H30. 2. 22	0	2	0	1	0	0	3
H31. 2. 22	0	2	1	0	0	0	3
R2. 2. 22	0	2	0	2	0	1	5
R3. 2. 22	0	0	1	5	0	0	6
R4. 2. 22	0	1	2	2	0	0	5
R5. 2. 22	0	0	2	1	0	1	4
R6. 2. 22	0	1	2	0	0	1	4
R7. 2. 22	0	1	2	1	0	0	4